

第 46 回日本伝熱シンポジウム原稿の書き方 (和文表題: Gothic 14pt)

MS-Word の場合 (和文副題: Gothic 12pt)

Guide for the manuscripts (英文表題: Times New Roman 12pt)

The case of MS-Word (英文副題: Times New Roman 12pt)

伝正 *伝熱 太郎 (京理大) 伝学 機械 次郎 (伝熱大)
和文著者名 複数用 (表を使って揃えます。罫線は印刷されません)

Taro DENNETSU¹ and Jiro KIKAI² (英文著者名: Times New Roman 10pt)

¹Dept. of Mech. Eng., Kyoto Univ. of Science, Kyotanabe-shi, Kyoto 610-0321

²Dept. of Mech. Eng., Dennetsu Univ., Kusatsu-shi, Shiga 123-4567

(文頭に半角スペース 5 つを挿入する) English abstract (英文アブストラクト: Times New Roman 10pt, 100 語程度)

Key Words: Key1, Key2, Key3, Key4 (英文キーワード: Times New Roman 9pt, 3~5 個程度)

1. 大見出し

1.1 中見出し 中見出しの場合は、本文を続けてはじめます。大見出しは改行し、中見出しの場合は本文を続けます。

1.2 原稿の種別 講演論文原稿には、印刷版原稿と電子版原稿があります。印刷版の講演論文の長さは 1 題目あたり A4 サイズで 2 ページとします。原稿の作成には、本ファイルをテンプレートとしてお使い下さい。

講演論文の作成様式は、2 段組×片側 26 字×60 行とします。電子版には、オフセット印刷版と同じものか、または 8 ページ以内のフルペーパーを掲載することができます。様式は印刷版と同じですが、カラーの使用が可能です。ファイル容量は最大で 2MB までとし、アニメーションは含まないものとします。

1.3 本文の書式 本文は 9 ポイント明朝体の 2 段組 (片側 1 行 26 字程度) で作成して下さい。2 ページ目は、先頭から 2 段組とし、片側 60 行を目安として作成して下さい。

2. 数式, 表, 図の書き方

2.1 数式サンプル 数式(1)のように、数式スタイルを適用し、タブを挿入し、式番号を右端に付します。

$$f = m\alpha \quad (1)$$

2.2 表サンプル 表 1 のように、表中の記号およびキャプションは英語で書きます。塗り、ハッチングはできるだけ利用しないで下さい。

Table 1 Sample table.

A	a	1
B	b	2
C	c	3
D	d	4

2.3 図サンプル 図 1 のように、図中の記号およびキャプションは英語で書きます。なお、電子版原稿はカラー表示が可能です。印刷版原稿は白黒で印刷されます。

3. 参考文献の引用の仕方

参考文献は、本文中の引用箇所の右肩に小括弧をつけた番

号⁽¹⁾で表し、本文の末尾に下記のようにまとめて列記します。(番号) 著者名, 雑誌略称, 巻-号(発行年), 先頭ページ番号。

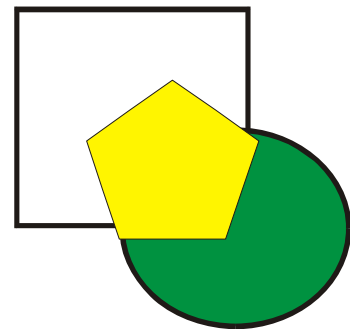


Fig.1 Sample figure.

4. 原稿提出について

4.1 PDF ファイル PDF ファイルの作成にあたり、「フォントの埋め込みを行う」よう設定して下さい。原稿は、提出前に必ず印刷したものを確認して下さい。

4.2 原稿提出 原稿の提出はシンポジウムのホームページより行います。講演論文投稿 J-STAGE にアクセスし、必要事項を記入した後に、原稿をアップロードして下さい。

参考文献

(1) 伝熱・他 2 名, 機論(B), 12-345(2006), 1234.

